



愛のともしびの
シンボルマークです

愛のともしび

発行

岡山県重症心身障害児(者)を守る会

岡山市北区祇園866 旭川児童院内

☎(086)275-3211

FAX(086)275-5102

岡山県 守る会

検索



新年を迎えて

岡山県重症心身障害児(者)を守る会 会長 池田 里志

平素より重症心身障害児者のためにコロナ禍においても格別のご理解とご支援をいただいている関係者の皆様にあらかじめ心より厚く御礼を申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。

いまだに新型コロナウイルスは世界中で猛威を振るっています。そのような中で、感染をさせない・しない生活からそれに加えてコロナ禍でも心身ともに健康な生活を考え、実践する動きが進んできているように思います。昨年は岡山県支部としては初めてとなるオンラインでのコンサートを2回開催することが出来ました。ボランティアとして出演して下さった方々にはこの場をお借りしてあらためて感謝の意を申し上げます。また、このような

状況下においても公私共にご多用の中、子供たちの為に時間を割いて素敵なコンサートを開催して下さった方々との繋がりが持てている事は大変ありがたい事であり、今まで守る会として運動をしてこられた先輩方の活動の成果の一つだと思っています。また、長く続けている行政との意見交換会もオンライン形式ではありますが開催することが出来ました。国の制度も向上し、子供たちにとっては人生の選択肢も増

えてきました。今後もより豊かな人生を送る事が出来るよう、活動を維持継続していきたいと思っています。

コロナ禍で一層進んだ会議や交流のオンライン化には会員の高齢化などもあり対応が難しい部分もあります。がうまく取り入れる事が出来れば活動の幅が広がるでしょう。感染対策に留意しながら会議や交流会の中でオンライン・SNSを有効に活用する為の学習会なども企画して行きたいと考えています。

様々なご意見をいただくと共に皆様方のご支援ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

守る会の三原則

- 一、決して争ってはいけない
- 二、争いの中に弱いもの生きる場はない
- 一、親個人がいかなる主義主張があっても重症児運動に参加する者は党派を超えること
- 一、最も弱いものをひとりももれなく守る

「癸卯（みずのと・う）の年を迎えて

旭川荘療育・医療センター

院長 神崎 晋



皆様、新年明けましておめでと
うございます。

第47回日本重症心身学会は昨年12月に島田療育センターのお世話で開催されました。同センターは島田療育園として発足し、その初代園長が小林堤樹先生です。先生は「両親の集い」を通して重症児の親を導き励まされ、それは「全国重症心身障害児（者）を守る会」に発展しました。また、障害児のいと生活より充実させるため、多くの著述をされ、学会（本学会です）を作り、重症児医学の基礎を作られました。先生によって初めて重症児の上に光がさしました。座右の銘は「この子は私である。あの子も私である。どんなに障害が重くともみんなその福祉を守ってあげなければと深く心に誓う」でした。

寅（虎）年の昨年は、「寅千里を走

る」のように、新型コロナウイルス感染が

日本中を席卷いたしました。昨年後半には更に食料や光熱費の著しい上昇が加わり、重症心身障害児者およびその関係者様にとってその負担増は大きく、まさに「前門の虎後門の狼」の状態でした。政府は今後5年間に防衛費として総額43兆円を投入するとか。軍事的冒険心を隠さない北朝鮮、中国やロシアと日本海を挟んで対峙しているわが国としては、この程度の防衛費が必要なのでしょうか。しかし、その1割でも福祉に回してくれよと心の中で叫ぶのは私だけでは無いと思います。

本年は「卯（兎）」年です。卯（うさぎ）は穏やかで温厚な性質であることから、

「家内安全」、また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。本年の干支は正確には「癸卯」です。「癸」は「揆（はかる）」という文字の一部であることから「種子が計ることができるほどの大きさになり、春の間近でつぼみが花開く直前である」という意味だと言われています。「卯」は形が「門が開いている様子」を連想させることから「冬の門が開き、飛び出る」という意味があるそうです。「癸卯」という言葉は、既に春の兆しは始まっていて、これからは今まで培われた実力が試される局面に入ったことを示しています。「癸卯」の本年は新型コロナウイルスで停滞した世の中に希望が芽吹き、開花への助走の年です。明日への希望を持ち続け頑張りましょう。

本年が皆様にとって良い年でありますように心から願っております。

母親部会に参加して

岡山県重症心身障害児（者）を守る会

母親部会長 石原 都

10月12日に令和4年ブロック専門部会長会議が重度心身障害児療育相談センター3F（東京都）であり、私は午後の部母親部会に中国ブロックの代理として参加しました。コロナ禍になってから県外に出るのは初めて、景色を見る余裕ができたのは三宿に着いてからでした、天気が良いのが何よりで美咲町と比べて紅葉には少し早い様な気がしました。

部会の内容は小山母親部会長の司会進行で行われ次の様なまとめとなりました。

- ① コロナ禍と言う状況を受け止めている子どもたちには頭が下がる思いである。
- ② 子どもに対して親は義務と責任を果たさなければならぬ。
- ③ 共に高齢化になるが考えは変わら

ない。原点に戻る事が大切です。
④ 今、何ができるのか、親同士心を合わせることはできる。

各ブロックから会場へ7名ウエブ参加は2名で行われ、どのブロックの母親も思うことは同じです。逢えない子供の事を想い、何もできない歯がゆさにいつまで耐えればいいのか、見えない出口にほんの少しの灯りを探す。約3年にもわたり続くコロナ禍によって、私たちの生活は大きく変わりました。しかし子どもたちが必要としている以上頑張らなくてはならない。そして私達親はこの大変な時に子どもをあずけています、施設の人に感謝することを忘れてはいけないと思います。



6月と12月に有志の方のご協力によりオンラインコンサートを開催しました。
素敵な演奏を聴きながらゆったりとした時間を過ごすことが出来ました。

令和4年岡山県重症心身障害児(者)を守る会の主な活動内容			
月日	活動内容	開催場所	参加者
6/初	第33回総会	書面決議	
6/18	オンライン会員交流コンサート	オンライン開催	10組
7/26	岡山県障害福祉課との意見交換会	オンライン開催	6名
10/22	中国ブロック合同専門部会	サンピーチ岡山	8名
12/15	クリスマスカード製作・発送	旭川児童院	6名
12/18	オンライン会員交流コンサート	オンライン開催	14組
各種会議	全国支部長会議☆ 評議委員会☆ 重症心身障害児(者)を守る全国大会☆ 全国専門部会長会議 中国ブロック役員会☆ 中国ブロック大会☆ 県守る会理事会(7回)☆ 集団療育キャンプ☆ 岡山県特別支援教育振興会理事会 自立支援協議会(瀬戸内市 吉備中央町) 明日にはばたく集い 岡山県総合社会福祉大会☆ 「障害者週間」啓発活動☆ ※☆印は新型コロナウイルス感染防止の為に全て(または一部)が中止・延期となりました		
年間活動	在宅児者へ誕生日カードとプレゼントをお届け 守る会の説明会(広報活動) リーフレットの配布 ホームページ更新 会報誌「愛のともしび」新年号発行 速報版4回発行		



クリスマスメッセージカードと準備の様子